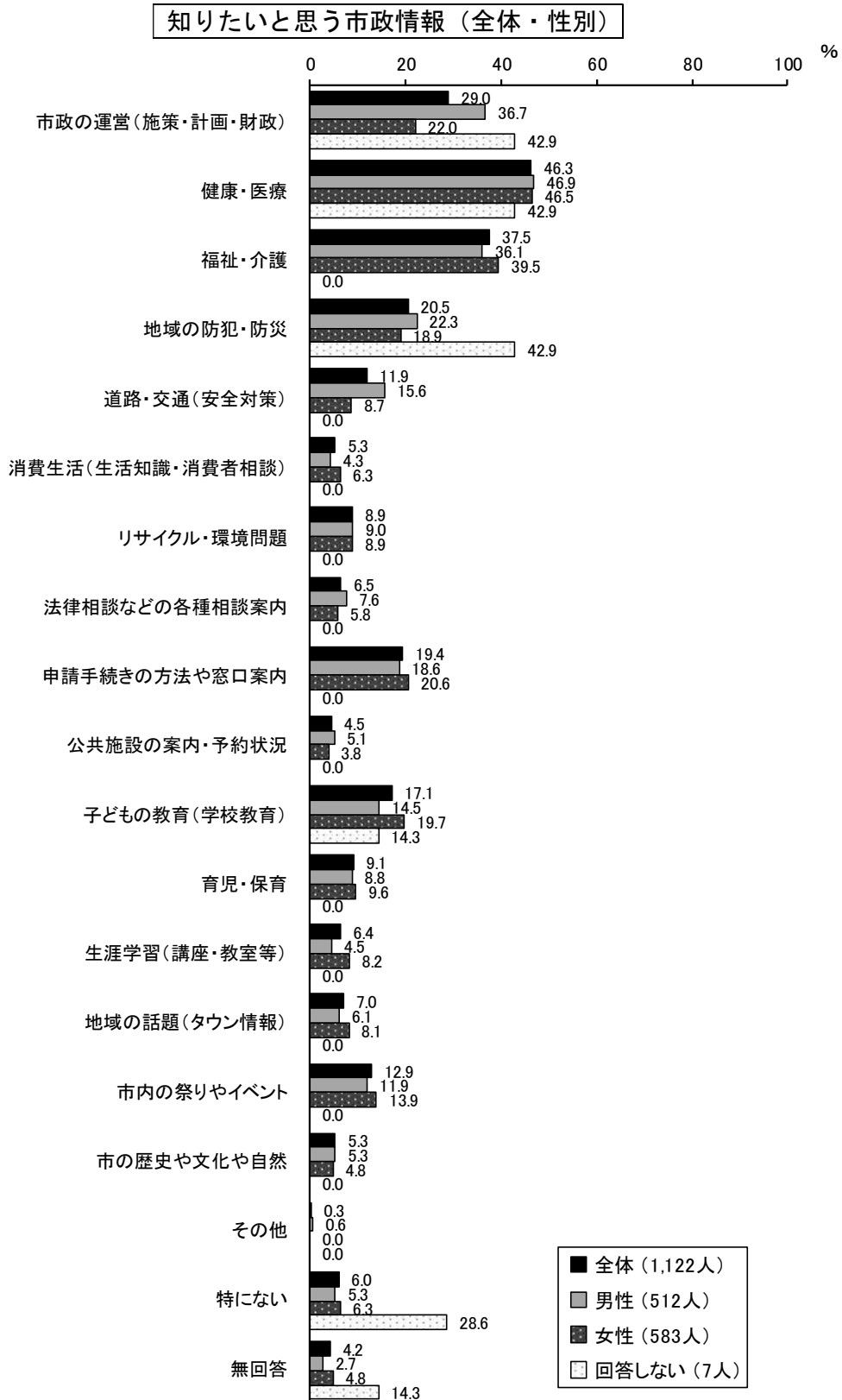


11 市政情報について

11-1 知りたいと思う市政情報

◆「健康・医療」46.3%◆

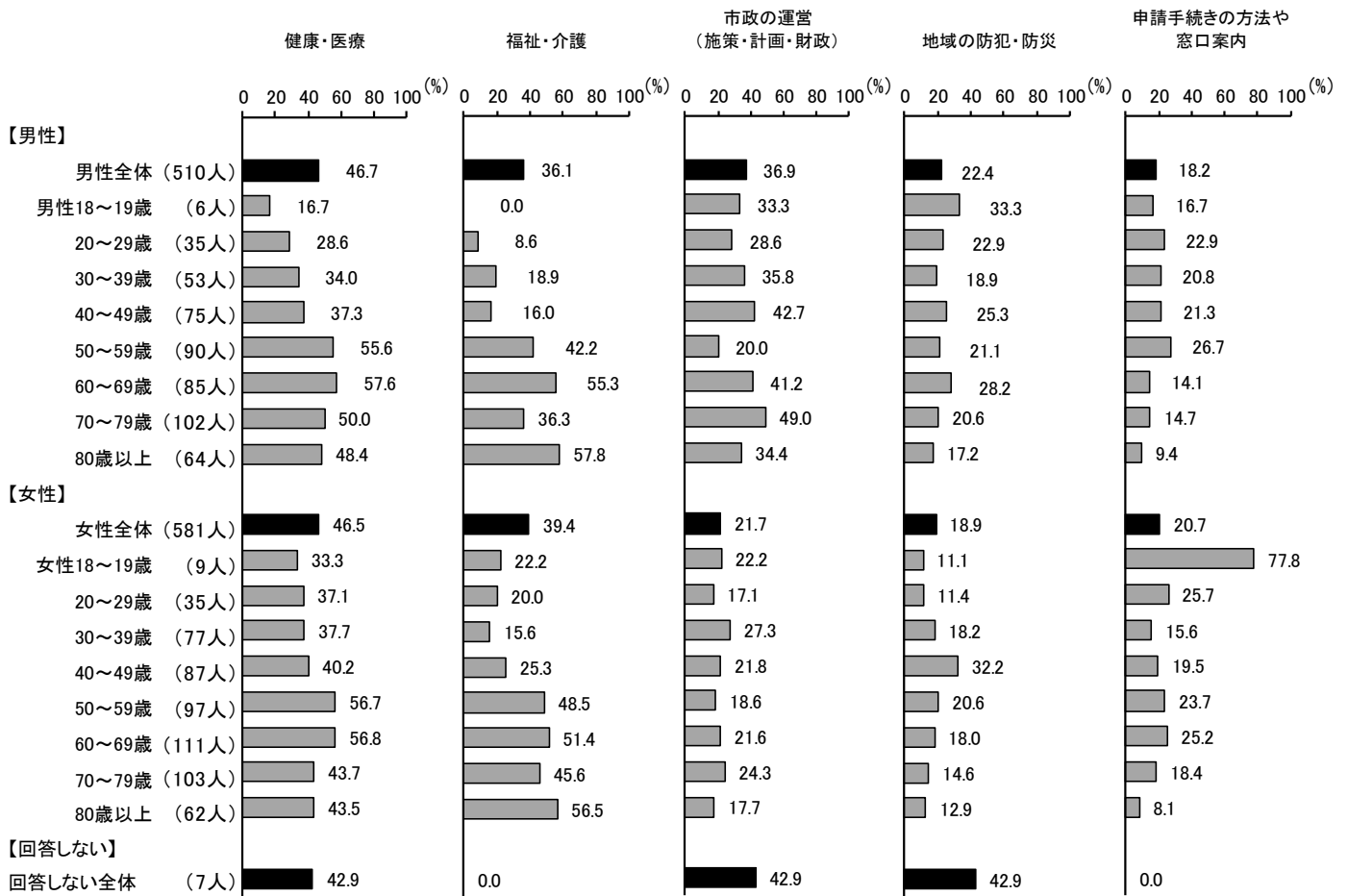
問 31. あなたが知りたいと思う市政にかかわる情報はどのようなものですか。3つまで
 選び、番号を○で囲んでください。



全体では「健康・医療」の割合が46.3%と最も高く、次いで「福祉・介護」の割合が37.5%、「市政の運営（施策・計画・財政）」の割合が29.0%となっています。

性別でみると「市政の運営（施策・計画・財政）」で男性（36.7%）が女性（22.0%）を14.7ポイント、「地域の防犯・防災」で男性（22.3%）が女性（18.9%）を3.4ポイント上回っています。一方、「子どもの教育（学校教育）」は女性（19.7%）が男性（14.5%）を5.2ポイント、「生涯学習（講座・教室等）」では女性（8.2%）が男性（4.5%）を3.7ポイント上回っています。

知りたいと思う市政情報（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「健康・医療」は男性の50～59歳から70～79歳までで5割を超え、女性の50～59歳と60～69歳で5割半ばと高くなっています。

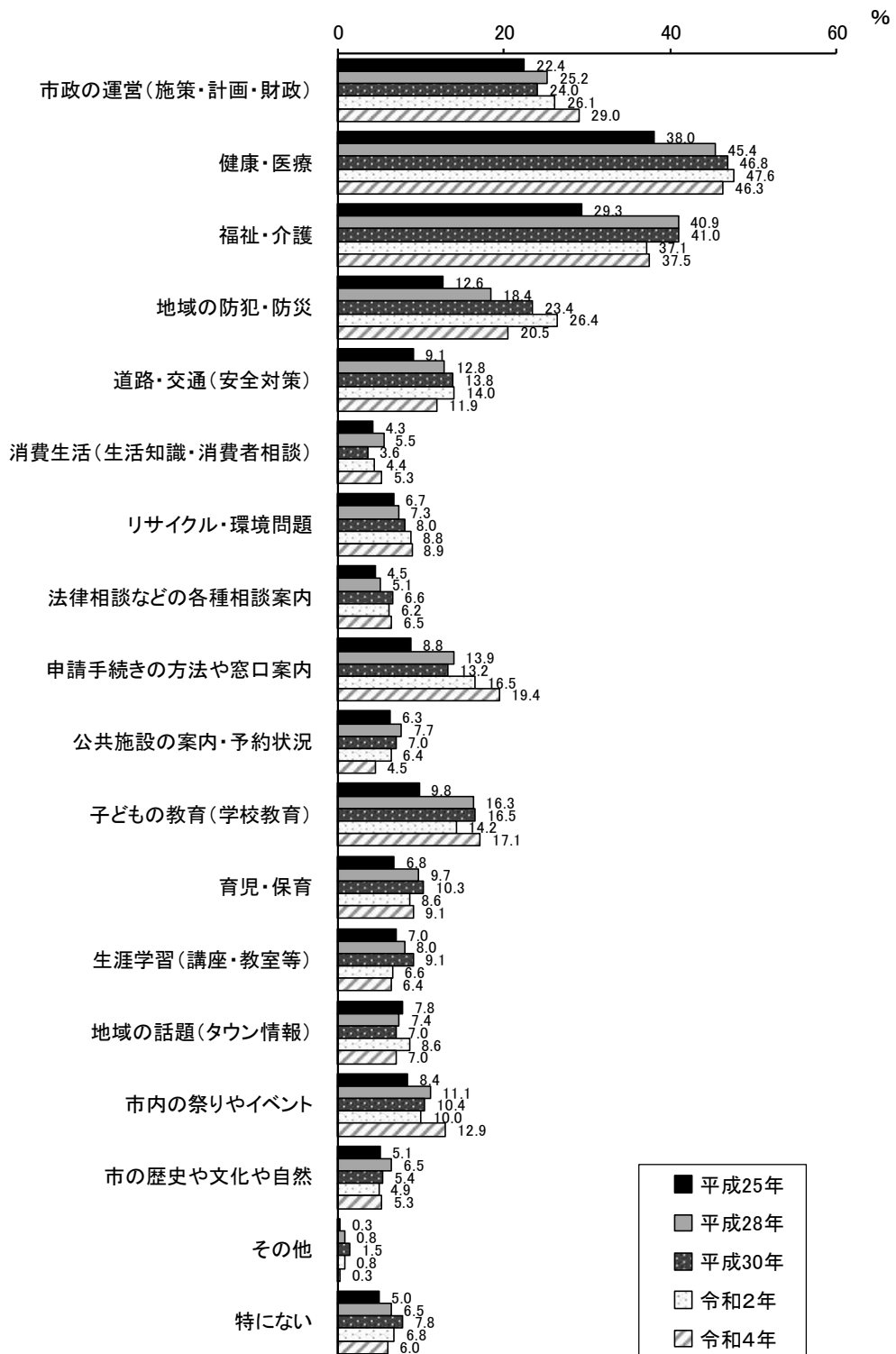
「福祉・介護」は男性・女性ともに80歳以上で57.8%、56.5%とそれぞれ最も高くなっています。

「市政の運営（施策・計画・財政）」は男性の70～79歳で49.0%と高くなっています。女性では30～39歳で27.3%と比較的高くなっています。

「地域の防犯・防災」は男性の18～19歳で33.3%、女性の40～49歳で32.2%と最も高くなっています。

「申請手続きの方法や窓口案内」は男性の50～59歳で26.7%、女性の18～19歳で77.8%と最も高くなっています。

知りたいと思う市政情報（経年比較）

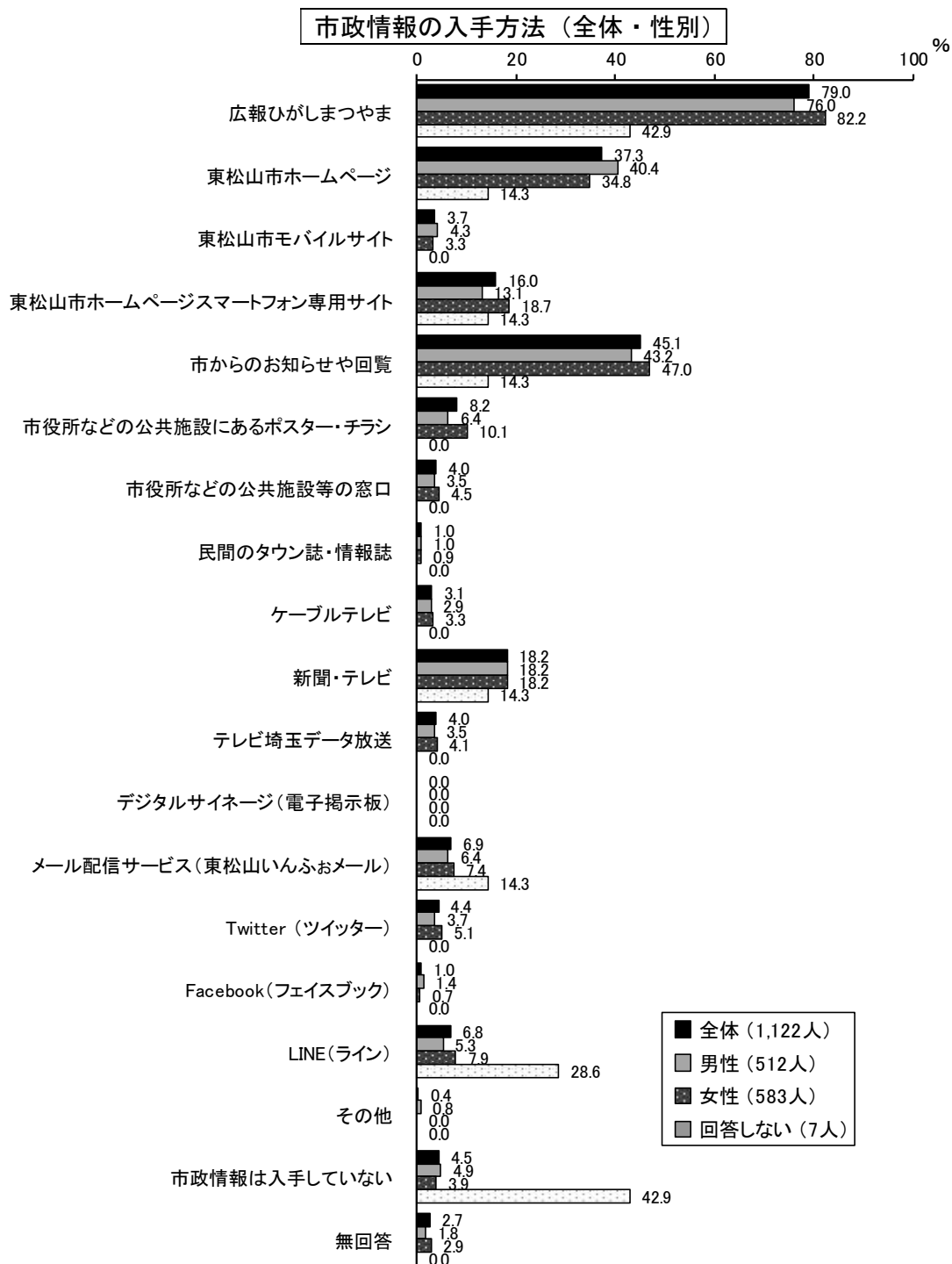


令和2年度調査と比較すると、「市政の運営（施策・計画・財政）」「申請手続きの方法や窓口案内」 「子どもの教育（学校教育）」 「市内の祭りやイベント」で2.9ポイント増加しています。また、平成25年度調査以降「リサイクル・環境問題」は増加しています。

11-2 市政情報の入手方法

◆「広報ひがしまつやま」79.0%◆

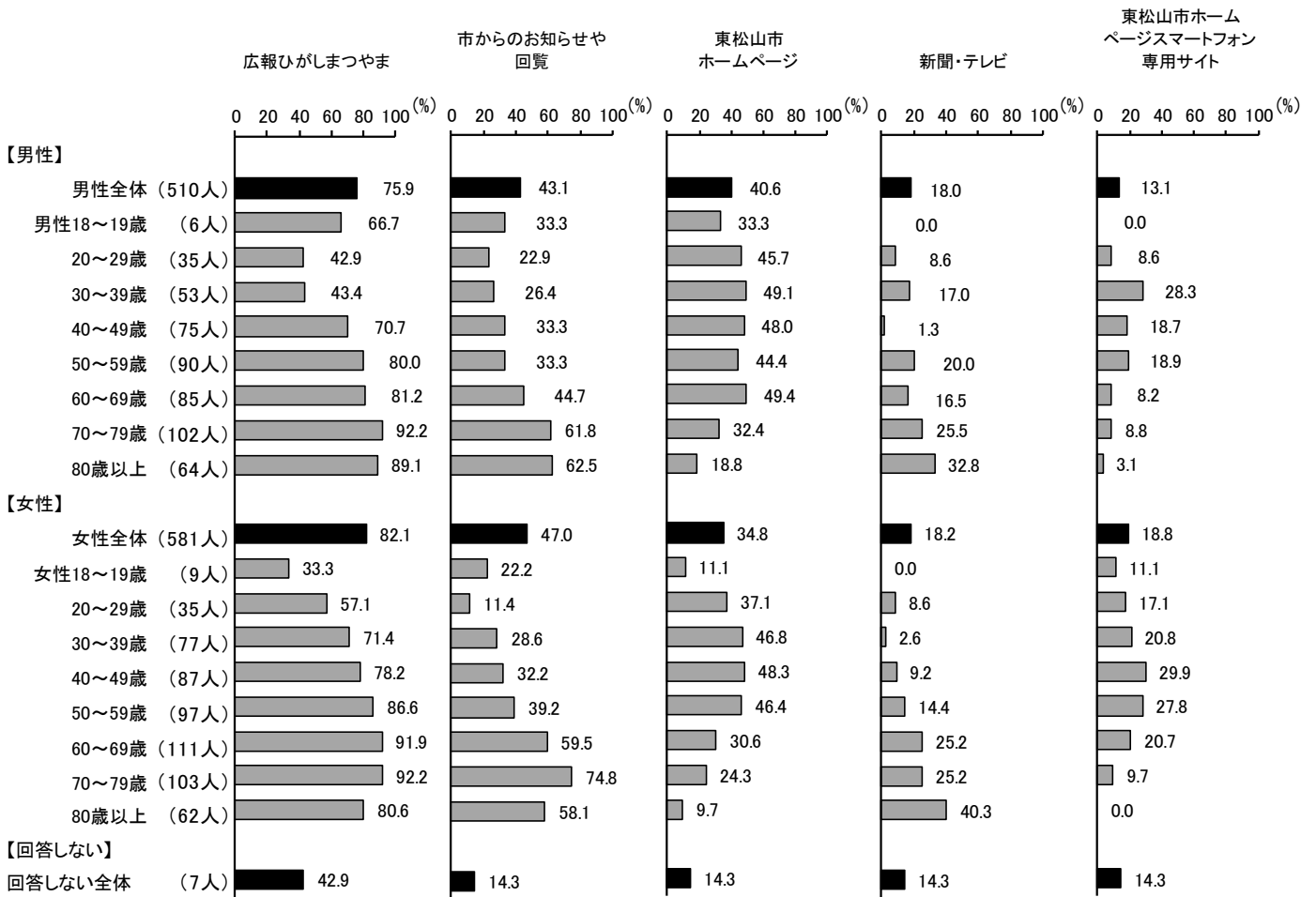
問 32. あなたは、市政情報をどのような方法で入手していますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。



全体では「広報ひがしまつやま」の割合が79.0%と最も高く、次いで「市からのお知らせや回覧」の割合が45.1%、「東松山市ホームページ」の割合が37.3%となっています。

性別でみると「広報ひがしまつやま」では女性(82.2%)が男性(76.0%)を6.2ポイント、「東松山市ホームページスマートフォン専用サイト」では女性(18.7%)が男性(13.1%)を5.6ポイント上回っています。

市政情報の入手方法（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「広報ひがしまつやま」は男性の70～79歳で、女性の60～69歳、70～79歳で9割を超え、高い割合となっていますが、男性の20～29歳、30～39歳はそれぞれ42.9%、43.4%、女性の18～19歳は33.3%と低くなっています。

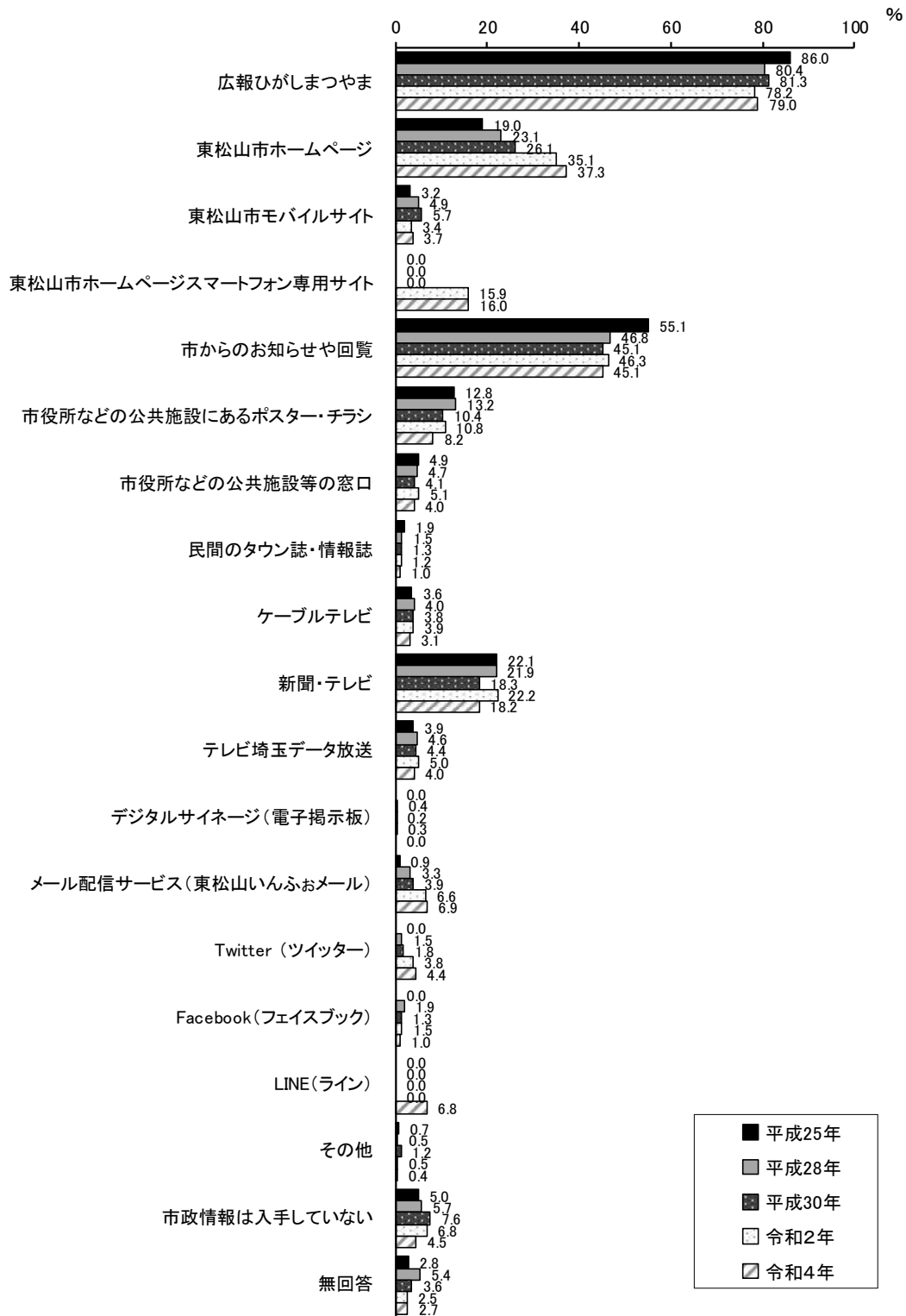
「市からのお知らせや回覧」は年齢が高くなるほど、おおむね割合が高くなる傾向にあり、男性の80歳以上で62.5%、女性の70～79歳で74.8%と最も高くなっています。

「東松山市ホームページ」は男性の60～69歳で49.4%、女性の40～49歳で48.3%とそれぞれ最も高くなっています。

「新聞・テレビ」は男性・女性ともに80歳以上でそれぞれ32.8%、40.3%と最も高くなっています。

「東松山市ホームページスマートフォン専用サイト」は女性の40～49歳で29.9%と最も高く、男性の30～39歳で28.3%、女性の50～59歳で27.8%となっています。

市政情報の入手方法（経年比較）



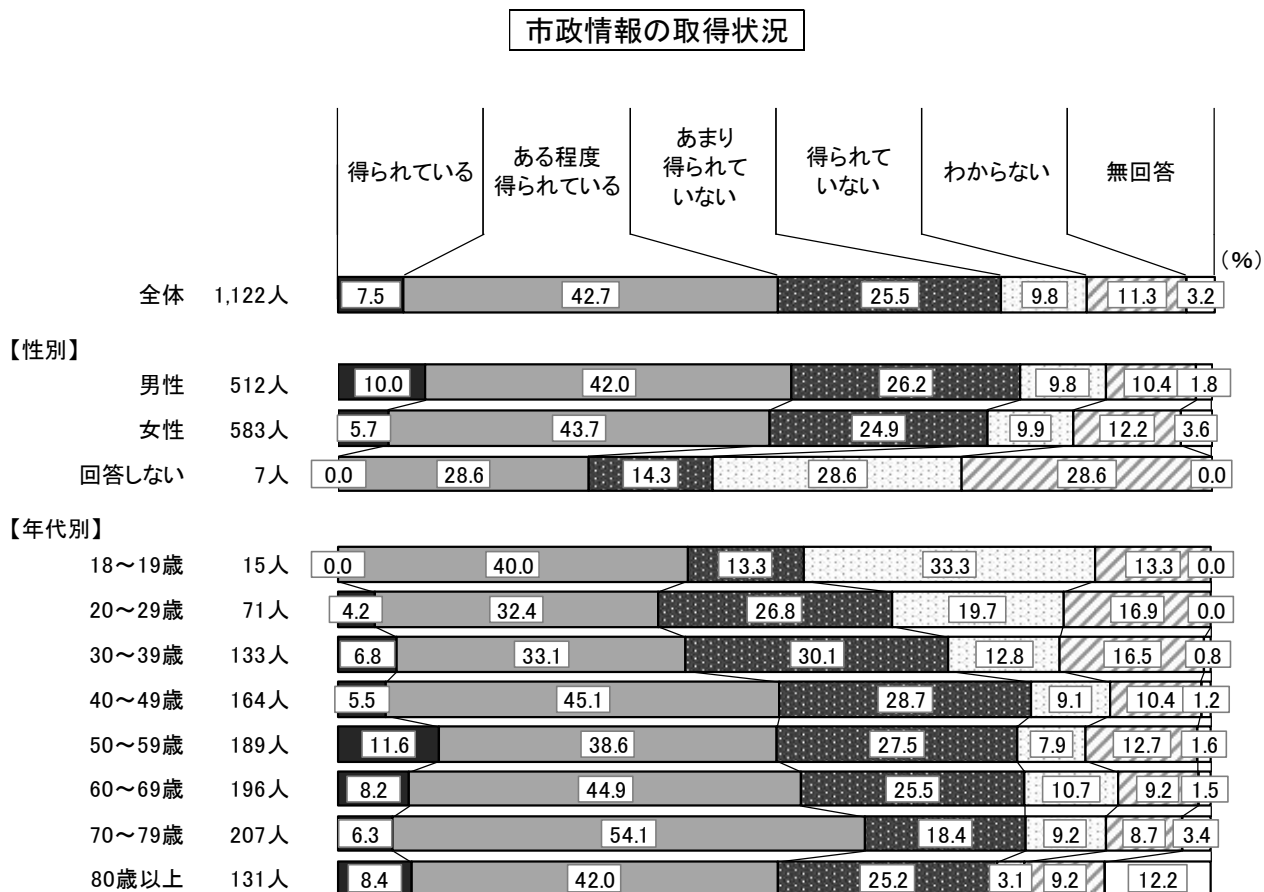
※「メール配信サービス(東松山いんふおメール)」は平成25年度までは「メール配信サービス・Twitter(ツイッター)」、平成30年度までは「メール配信サービス」で平成25年度からの選択肢となります。「テレビ埼玉データ放送」は平成25年度調査から、「デジタルサイネージ(電子掲示板)」「Twitter(ツイッター)」「Facebook(フェイスブック)」は平成28年度から、「東松山市ホームページスマートフォン専用サイト」は令和2年度からの選択肢となります。
 ※「LINE(ライン)」は令和4年度からの選択肢となります。

平成25年度調査以降、「東松山市ホームページ」「メール配信サービス(東松山いんふおメール)」「Twitter(ツイッター)」は増加傾向にあります。一方「広報ひがしまつやま」「市からのお知らせや回覧」「市役所などの公共施設にあるポスター・チラシ」は減少傾向にあります。

11-3 市政情報の取得状況

◆ “市政情報を得られている” 50.2%、“市政情報を得られていない” 35.3%◆

問 33. あなたは現在、東松山市の市政の情報を得られていると思いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体では「得られている」と「ある程度得られている」をあわせた“市政情報を得られている”の割合が 50.2%、「あまり得られていない」と「得られていない」をあわせた“市政情報を得られていない”の割合が 35.3%、「わからない」の割合が 11.3%となっています。

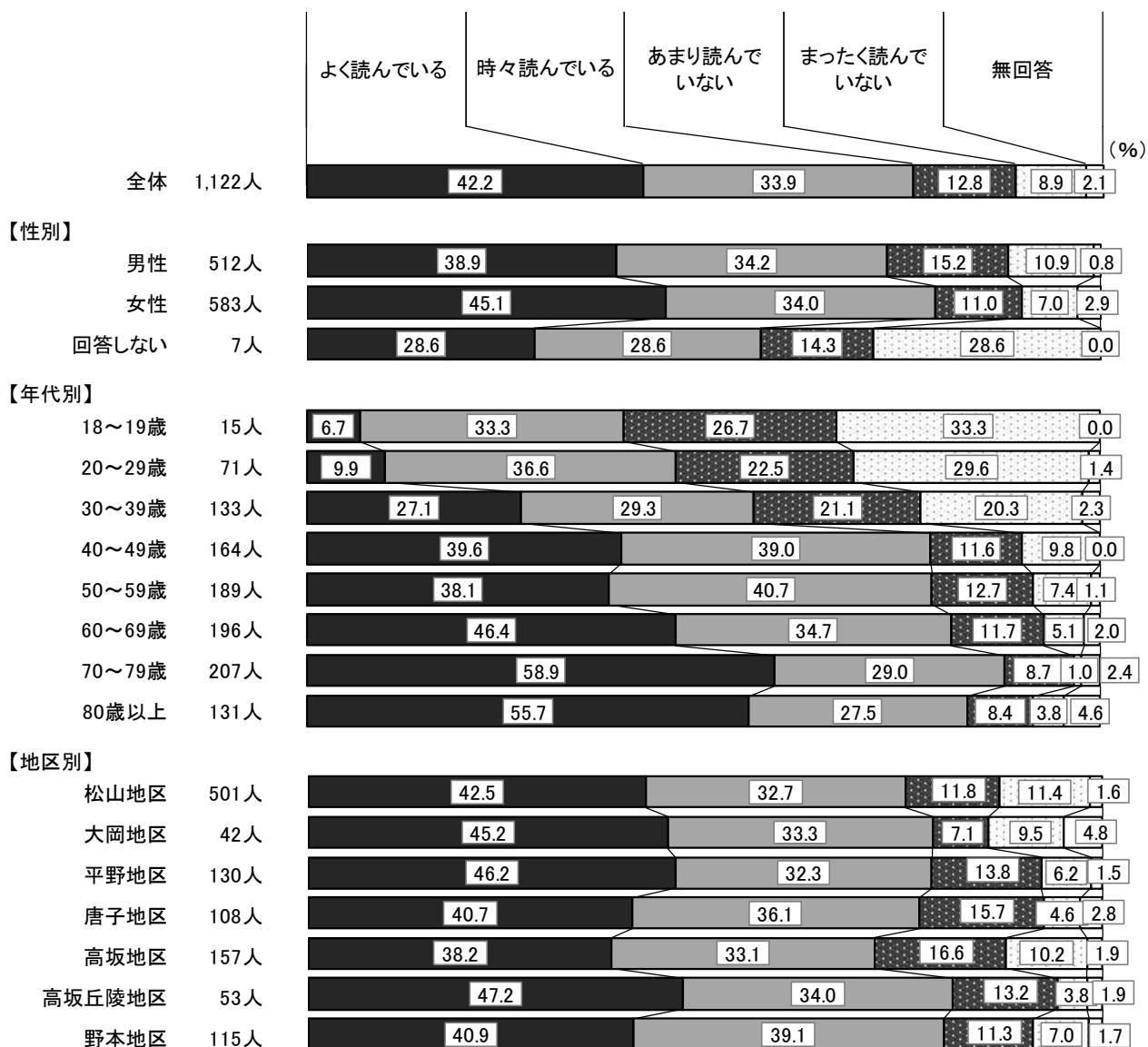
年代別でみると、40～49歳以降の年代では“市政情報を得られている”が“市政情報を得られていない”の割合を上回っていますが、18歳～19歳から30～39歳までは“市政情報を得られていない”の割合の方が高くなっています。“市政情報を得られている”の割合は70～79歳で60.4%と最も高くなっています。一方“市政情報を得られていない”の割合は18～19歳で46.6%と高くなっています。

11-4 広報紙「広報ひがしまつやま」の閲読状況

◆ “読んでいる” 76.1%、 “読んでいない” 21.7% ◆

問 34. あなたは、広報紙「広報ひがしまつやま」を読んでいますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

広報紙「広報ひがしまつやま」の閲読状況



全体では「よく読んでいる」と「時々読んでいる」をあわせた“読んでいる”の割合が76.1%、「あまり読んでいない」と「まったく読んでいない」をあわせた“読んでいない”の割合が21.7%となっています。

年代別で見ると“読んでいる”は年齢が高くなるほどおおむね高くなる傾向にあります。70～79歳では「よく読んでいる」が58.9%と最も高くなっています。

地区別で見ると“読んでいる”は高坂丘陵地区、野本地区で8割以上となっています。

11-5 広報紙「広報ひがしまつやま」の入手方法

◆「自治会等からの配布」94.3%◆

(問34で「よく読んでいる」または「時々読んでいる」とお答えの方におたずねします。)

問34-1. 「広報ひがしまつやま」を主にどのように入手していますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

「広報ひがしまつやま」の入手方法



全体では「自治会等からの配布」の割合が94.3%と最も高くなっています。

地区別でも「自治会等からの配布」は全ての地区で9割以上となっています。

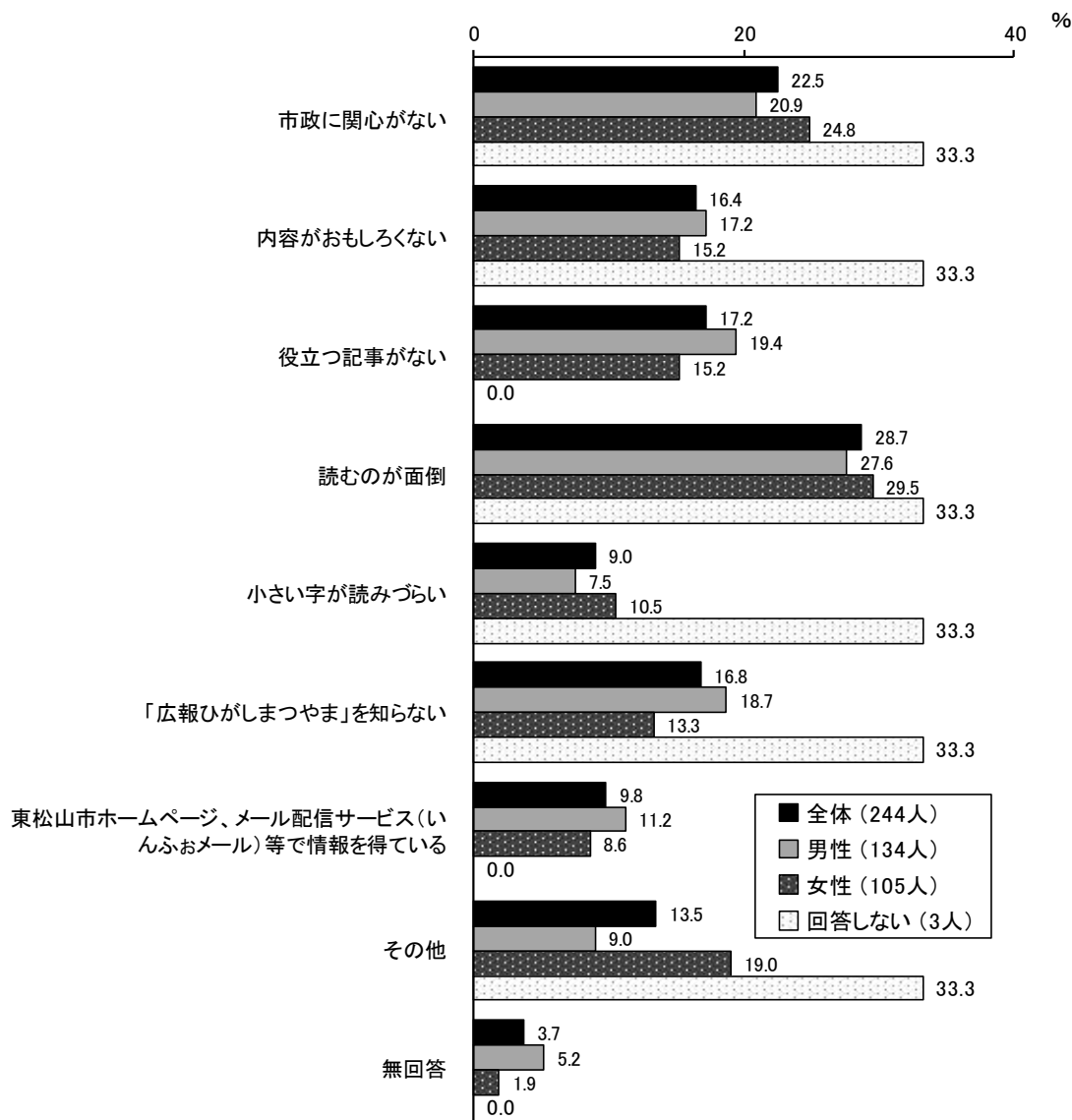
11-6 広報紙「広報ひがしまつやま」を読まない理由

◆「読むのが面倒」28.7%、「市政に関心がない」22.5%◆

(問34で「あまり読んでいない」または「まったく読んでいない」とお答えの方におたずねします。)

問34-2.「広報ひがしまつやま」を読まないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

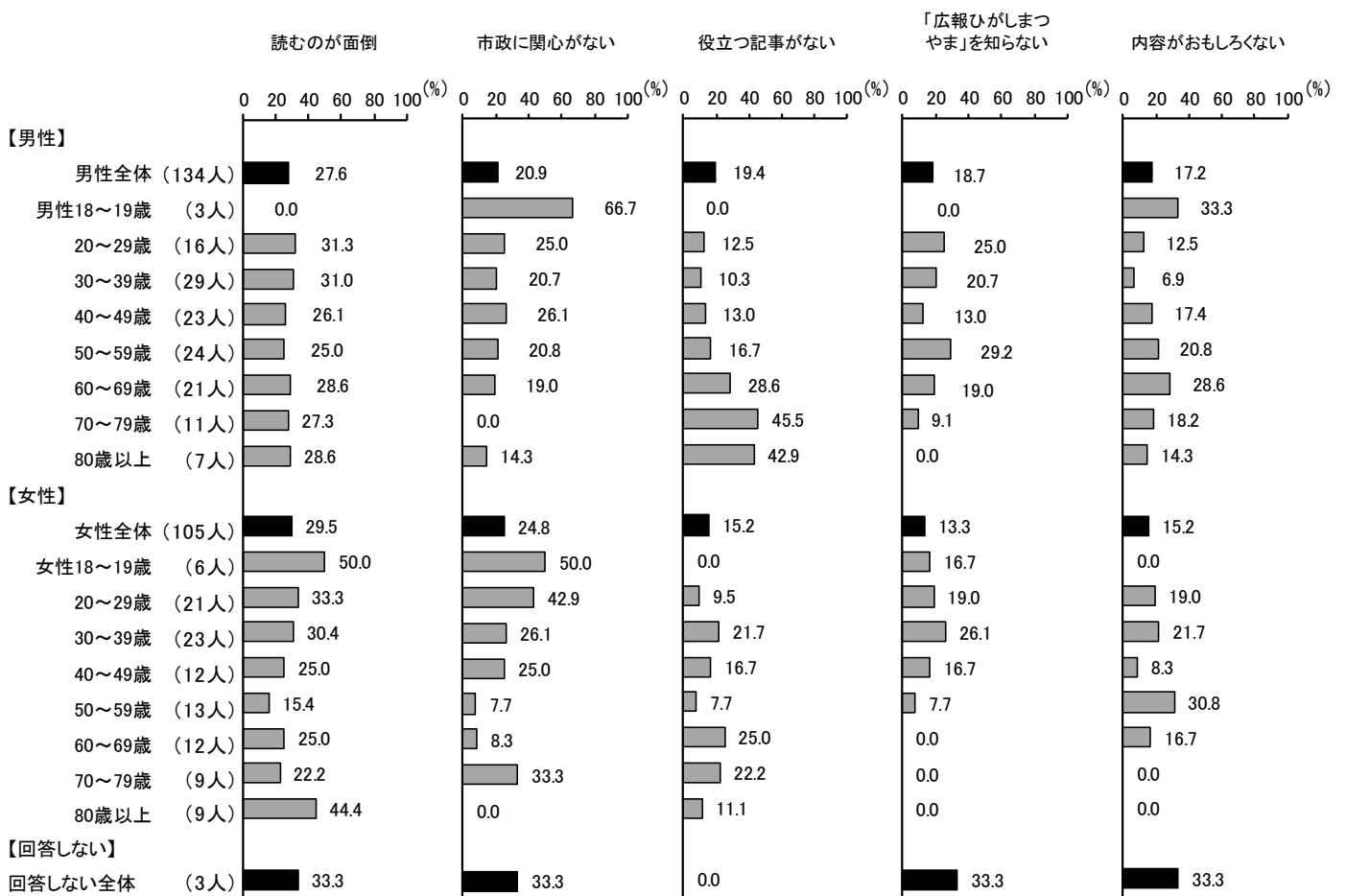
「広報ひがしまつやま」を読まない理由(全体・性別)



全体では「読むのが面倒」の割合が28.7%と最も高く、次いで「市政に関心がない」の割合が22.5%、「役立つ記事がない」の割合が17.2%となっています。

性別で見ると「読むのが面倒」では女性(29.5%)が男性(27.6%)を1.9ポイント上回っています。

「広報ひがしまつやま」を読まない理由（上位5項目 性・年代別）



性・年代別で見ると「読むのが面倒」は男性の20～29歳、30～39歳で3割を超え、女性の18～19歳で50.0%と高くなっています。

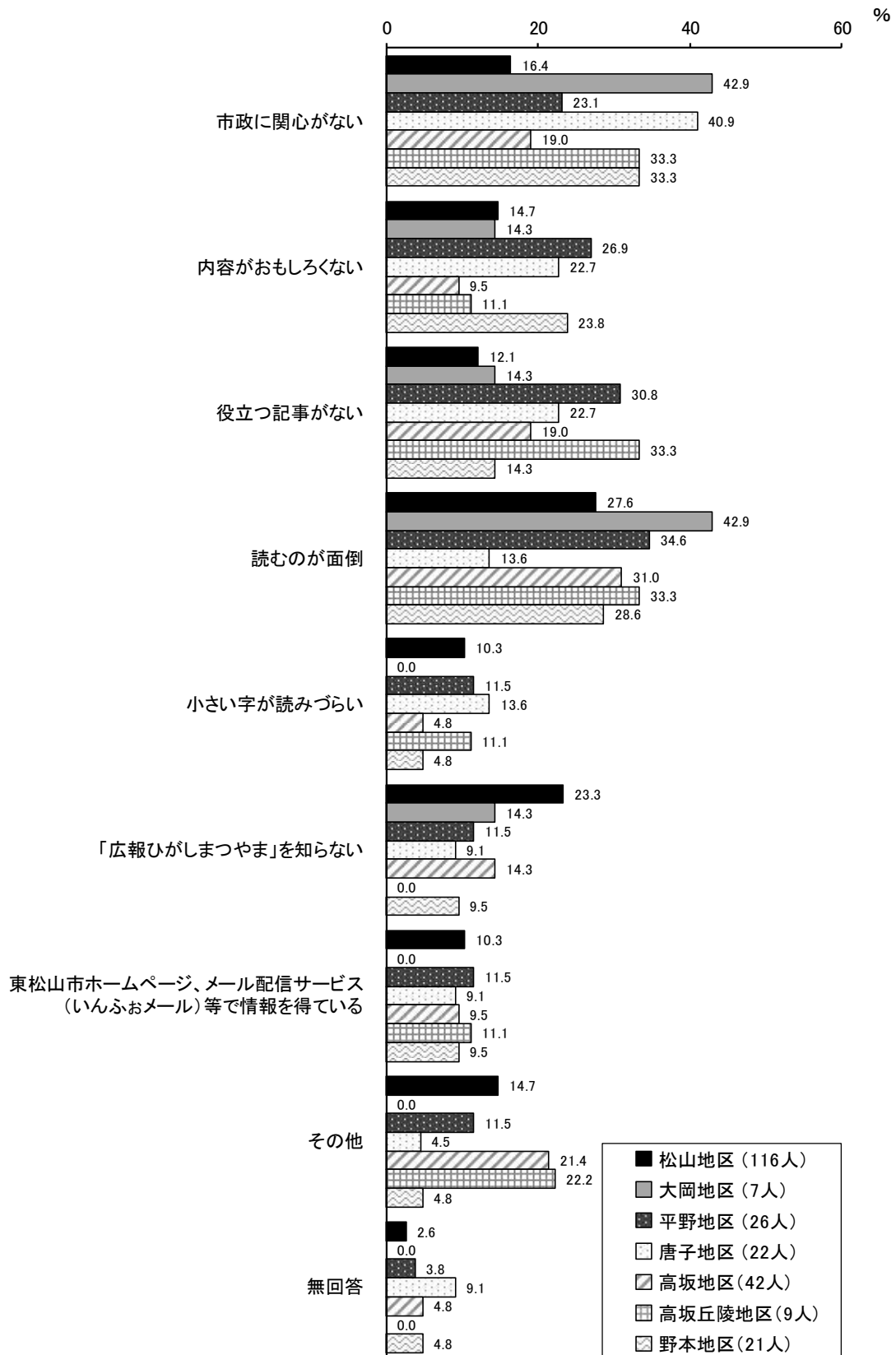
「市政に関心がない」は男性の18～19歳で66.7%、女性の18～19歳で50.0%と高くなっています。

「役立つ記事がない」は男性の70～79歳で最も高くなっています。

「「広報ひがしまつやま」を知らない」は男性・女性ともに全ての年代で3割以下と低くなっていますが、男性の50～59歳で29.2%、女性の30～39歳で26.1%と比較的高くなっています。

「内容がおもしろくない」は男性の18～19歳で33.3%、女性の50～59歳で30.8%と高くなっています。

「広報ひがしまつやま」を読まない理由（地区別）



地区別でみると大岡地区で「市政に関心がない」「読むのが面倒」が42.9%と高くなっています。また、松山地区で「広報ひがしまつやまを知らない」が23.3%と高くなっています。